

# 校長のつぶやき

校長室便り 第28号

令和元年9月18日 山内

## ○地域の皆さんからの声 ー近所の方からの電話ー

9月12日(木)16時ごろ、近所にお住まいの女性から事務室にお電話がありました。

『9月8日の政宗公まつりの日に、岩出山高等学校の生徒に助けてもらい、とても感謝している。先日手術をして、階段を上がるのが大変だった。通りかかった岩高生3~4人が荷物を持つなどして上がるのを手伝ってくれた。一人は二年生のTくんという男子生徒だった。今回のことだけでなく岩高の生徒は礼儀正しく、いつも一生懸命活動し、心優しい良い子が多い。それを見て岩出山に住む者として大変誇りに思っている。先生方の指導の賜だと思ふ。最近県内の高校の統合の話が多く聞こえてくるが、統合はしないで、ぜひ岩出山高校を残してほしい。地域が誇りに思う学校である。(事務室の担当が「生徒指導の先生におつなぎしますか」と聞いたところ)先生方は忙しい時間帯だと思ふので替わらなくていい。でもぜひ生徒指導の先生方に伝えてほしい。』

生徒部長の矢内先生から伺うと、昨年まで多かった苦情の電話は今年になってからほとんどなく、今回のようなおほめの電話を数件いただいているそうです。岩高のスローガンは「地域と共に」です。

## ○図書委員の活躍 ー大崎図書館で岩高を紹介ー

8月30日(金)から9月18日(水)まで岩高図書委員会が「図書委員おすすめの本」と題して大崎市図書館で展示活動を行いました。生徒会有志の助けによる切り絵や岩高短歌、手作り絵本、TVのコマーシャルで使われた写真や岩高祭の案内など、岩高をPRするものばかりでした。ご指導いただいた図書司書の尾崎先生、国語科や家庭科の先生方にも感謝いたします。ありがとうございました。



## ○MGCC ー大学の後輩中村匠吾選手と先輩大八木弘明監督ー

10月11日(金)マラソン大会が開催されます。男子は10km(大会記録は昭和56年度佐々木茂春さん33分25秒)女子は5km(大会記録は平成18年度岩下淑さん18分09秒)で行われます。天気が心配ですが、自分のペースにあわせ、完走を目指してください。

9月15日(日)2020年東京五輪マラソン代表を決める、MGCC(マラソングランドチャンピオンシップ)が東京で行われました。一発勝負選考です。実際にテレビで見た皆さんも多いかと思ひます。男子の部、大会前の下馬評ではビッグ4と言われる選手が優勝に近いと報道されていましたが、優勝したのはビッグ4以外の中村匠吾選手でした。中村選手は大学時代から大八木監督の下で箱根駅伝のエースとして活躍していましたが、社会人となってからも引き続き東京五輪マラソン代表を目指し大八木監督の指導を受けました。大八木監督が社会人チームの監督に指導の継続許可を何度も何度もお願いしました。「選手ファースト」の懐の深い社会人チームの福嶋監督は大学の八木監督の指導継続を許しました。むしろ自分も大学の八木監督から学ぼうとしました。

レースは39km中村選手がスパートし、ビッグ4の2名との歴史に残るデットヒートは残り300mで決着しました。レース後「たまたまのめぐれ」と暴言に近い陸連の強化部長の声にも「そのとおり、まだまだ私には力がありません。指導者や周りの支えで勝たせていただいただけです。引き続き五輪に向け精進します。」と答えていました。もともと持ち合わせている謙虚さに、大八木監督から熱い心と福嶋監督から懐の深さを学び、暴言をも力に変える中村選手は日本代表にふさわしい選手だと思います。心から応援したいと思ひます。

楽天イーグルスで活躍する今野龍太選手は皆さんの先輩です。皆さんは今野先輩のことを誇りに思うと思ひます。中村選手は私の後輩、大八木監督は私の先輩にあたります。私も彼らのことを心から誇りに思ひます。では今回の校長のつぶやきはこれでお終いにします。結びに校長室前にある、皆さんの先輩、現在東北学院大学の若松勝史さんの短歌です。 誰が出る? 残り一キロ横並び 意地がぶつかる ラストスパート!